

令和3年度進行管理・評価シート
下田市歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）
（最終変更 令和2年5月29日）

進捗評価シート(様式1)

組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
2 下田市景観まちづくり条例助成事業	6
3 玉泉寺周辺整備事業	7
4 市道大川端通線周辺整備事業	8
5 旧下田町道路美装化事業	9
6 蓮台寺温泉環境整備事業	10
7 下田公園環境整備事業	11
8 下田太鼓祭りプロモーション事業	12
9 太鼓台整備助成事業	13
10 姉妹都市(ニューポート)交流事業	14
11 下田市青年就農給付金給付事業	15
12 天草漁業従事者育成事業	16
13 旧下田町環境整備事業	17
14 歴史文化資源回遊性向上事業	18
15 郷土学習総合推進事業	19
16 下田市歴史文化情報発信推進事業	20
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、保存管理(活用)	21
2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練	22
3 文化財の普及・啓発、団体との連携	23
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	24
その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客の利便性の向上	25
法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26

評価軸 -1 組織体制		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に関わる建設課と生涯学習課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、下田市歴史的風致維持向上協議会（計画認定後に名称変更予定）と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、下田市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
建設課と生涯学習課を中心としながら、事業に応じて、庁内関係各課と協議・調整し、市民および民間各団体の理解・協力を得ながら計画を実施している。特に今後、庁内のみでの協議では難しい事業に関して、学識者や関係者とともに作業していくための組織として下田市歴史的風致維持向上協議会内に「作業部会」を設立できるようにした。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		作業部会を設置できるように要綱を改正したため、まずは計画第8章に定める、改修に伴う建築基準法の適用除外について作業する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>The diagram illustrates the implementation system. At the top left, the National Government (国) includes the Ministry of Education, Science and Culture (文部科学省), Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (農林水産省), and Ministry of Land, Infrastructure and Transport (国土交通省). Below this is Shizuoka Prefecture (静岡県) with the Sports, Cultural and Tourism Department (スポーツ・文化観光部) and Transport Infrastructure Department (交通基盤部). The central focus is Shimada City (下田市), which includes the City Office (事務局) with Construction and Lifelong Learning Divisions (建設課、生涯学習課), and the City Internal Relations Division (庁内関係課) with Planning, Disaster Safety, Tourism Exchange, Industry Revitalization, Construction, Lifelong Learning, School Education, and Education Committees. To the right is the Shimada City Historical Wind and Landscape Maintenance Promotion Association (下田市歴史的風致維持向上協議会), which contains three Working Committees (作業部会) and a Liaison Adjustment Meeting (連絡調整会議). Below the association are three city-level review committees: Cultural Heritage Protection Review Committee (下田市文化財保護審議会), Urban Planning Review Committee (下田市都市計画審議会), and Landscape and Town Planning Review Committee (下田市景観まちづくり審議会). At the bottom is the implementation system (実施体制) involving Citizens, Cultural Heritage Owners, and Related Organizations (市民、文化財所有者、関係団体). Arrows indicate 'Agreement' (協議) and 'Adjustment' (調整) between the National Government and City Office, 'Assistance and Support' (助言支援) from the Prefecture to the City Office, 'Agreement and Adjustment' (協議調整) between the City Office and the Association, 'Reporting' (報告) and 'Assistance' (助言) between the City Office and the Review Committees, and 'Agreement and Adjustment' (協議調整) between the City Office and the Citizens.</p>			
<p>作業部会：協議会所掌事項に関し、必要に応じて詳細な調査及び検討する。</p> <p>連絡調整会議：作業部会間の調整を行う。</p>			

評価軸 -1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	本重点区域は、まどが浜遊公園や柿崎弁天島などの一部を除き、ほぼ全てが用途地域内であり、このような現行の用途地域区分に基づき、適切な土地利用を誘導することにより、中心市街地としての都市機能の集積と良好な居住環境の形成との両立を図っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
人口は昭和50年をピークに減少し、世帯数も平成12年以降減少に転じている。また、様々な災害リスクを抱えるなか、歴史まちづくりを強調し、市街地の充実と市街地間との連携により、持続可能なまちづくりを進めていくため、令和3年度から2か年かけて「下田市立地適正化計画」の策定をはじめた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		下田市立地適正化計画において重点区域が活かされる方向で検討する。	
状況を示す写真や資料等			
<p style="text-align: center;">検討体制</p>			
<p style="text-align: center;">第1回 下田市立地適正化計画アドバイザー会議</p>			

評価軸 -1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		現在の状況 実施済 実施中 未着手

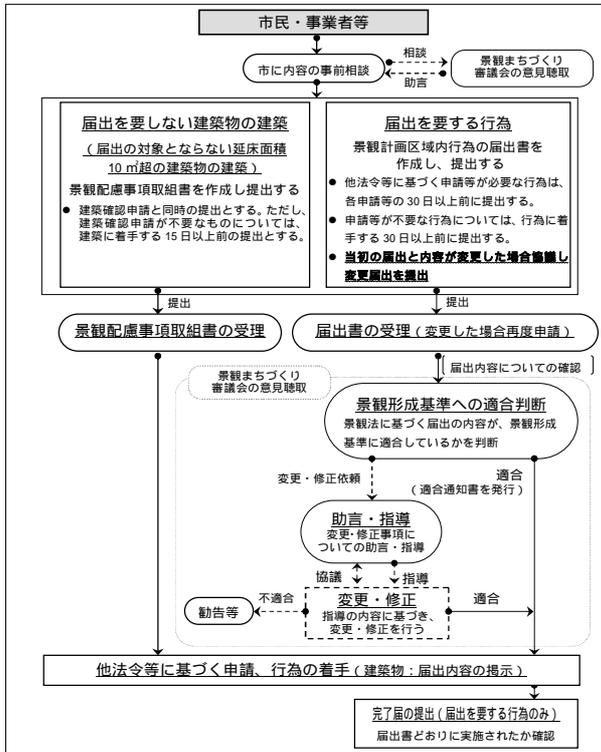
計画に記載している内容
本重点区域は、旧町内ゾーンと下田港周辺ゾーン、一部に海岸線ゾーンが設定されている。今後は、景観形成施策と歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等に関する事業推進の両輪で歴史的風致の維持向上を進めることを基本とし、下田市景観まちづくり条例に基づく景観重点地区の指定を進めていくとともに、歴史的風致と調和した良好な住環境の形成と美しく品格のあるまちづくりを進めていくため、旧下田町内においては、建築物の高さ制限などについて検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

「下田市景観計画」に基づき、「下田市景観まちづくり審議会」では、改修予定施設の外壁の色について、この場にふさわしい色を現地で検討するなど、良好な景観の形成に務めた。
届出実績: 6件 うち、重点区域: 0件(令和3年度)

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画において進めている事業との関係性も考慮し、景観計画の見直し作業を今後実施する予定。

状況を示す写真や資料等



下田市民文化会館ギャラリー
下田市景観計画に位置付けている下田まち遺産の展示紹介
(令和4年2月18日から令和4年3月8日まで)

下田市景観まちづくり条例に基づく行為着手手続きの流れ

評価軸 -1

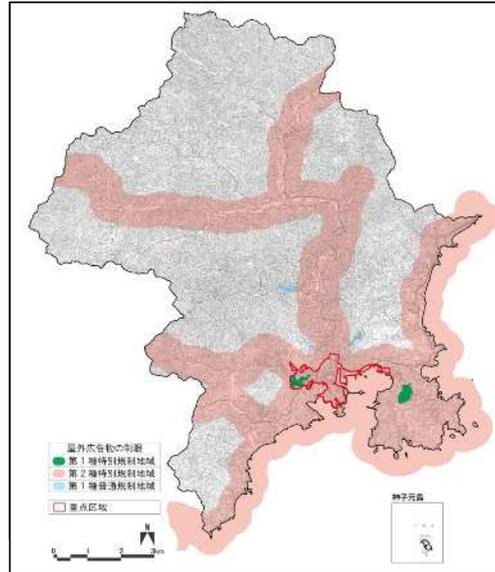
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	本市における屋外広告物の表示及び掲出については、屋外広告物法に基づく静岡県屋外広告物条例により規制誘導されている。屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、良好な歴史的風致の維持及び向上を図るため、下田市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
・「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対して許可申請を実施することで、適正な色彩、規模等へと規制・誘導を行った。 新規許可申請件数：8件、更新許可申請件数：6件(令和3年度) ・無許可屋外広告物の撤去や改善を図るため、文書などによる指導を実施 指導是正件数：9件(令和3年度)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		前述した景観計画の見直しと併せ、下田市独自の屋外広告物条例の検討を行う予定。	

状況を示す写真や資料等



改善事例1(前・後)



屋外広告物規制図と重点区域



改善事例2(前・後)

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)、市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物を後世に残すため、必要に応じて現況調査、維持管理や活用についての検討、補修などを行う。

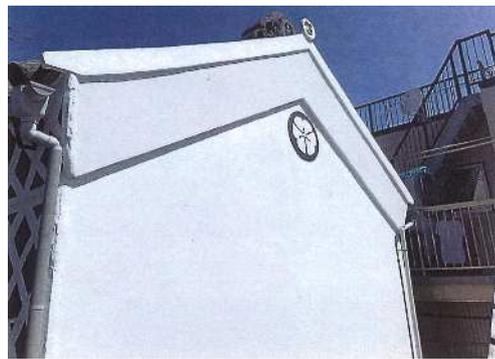
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定をし、修繕の助成を行い、建造物の保存を進めた。
歴史的風致形成建造物指定(令和元年度:2件、令和2年度:3件、令和3年度:1件) / 対象物件10件
歴史的風致形成建造物修繕助成: 5件(令和2年度)、4件(令和3年度) / 対象物件10件(毎年度活用可)

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している	今後、これまで実施してきた建築物の補修にとどまらず、建築物の再活用を念頭に置いた、改修方法について検討していく必要がある。また、改修方法については建築物の持っている歴史的価値を考慮した改修方法を併せて検討していく必要がある。
計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



指定番号No.1 雑忠(漆喰壁修繕)



指定番号No.3 榎田蔵(戸袋修繕)

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
下田市景観まちづくり条例助成事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成21年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する歴史的建造物のうち、下田市景観まちづくり条例に基づく登録まち遺産である建造物を後世に残すため、必要とされる修繕、活用に向けた費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
登録まち遺産へ修繕のための助成を行い、市内歴史的建造物の保存を行った。 登録まち遺産助成件数: 4件(令和3年度)(うち歴史的風致形成建造物4件) / 対象物件15件			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
草画房(2階窓修繕)			

評価軸 -1

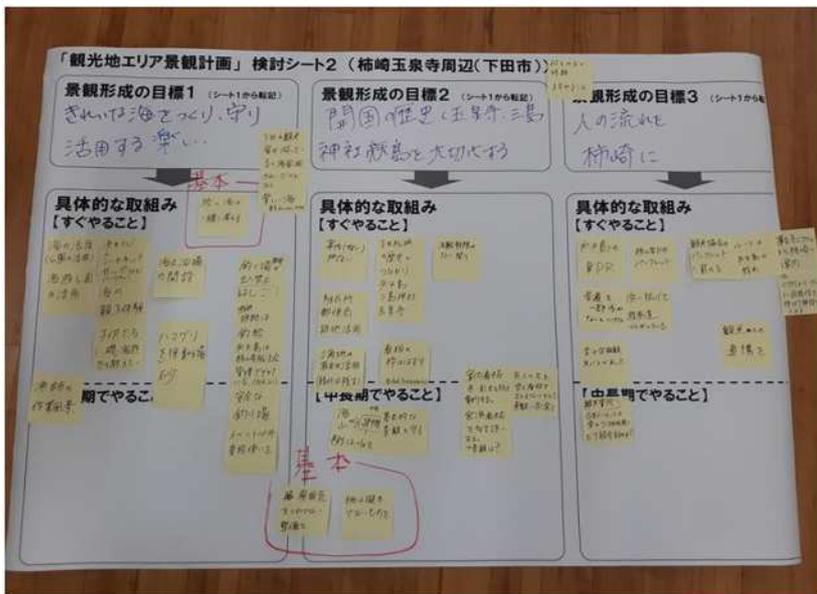
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
玉泉寺周辺整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	玉泉寺周辺において、道路修景といった歴史あるまちなみと調和した空間の整備や、駐車場整備といった環境整備を行うことにより、玉泉寺周辺の賑わいを取り戻し、良好なまちなみ環境の形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
整備事業の全体整理のため、観光地エリア景観計画(ふじのくに景観形成計画に基づくもので、地域で目指すべき姿に向けた具体施策を示す計画)の策定について、地域ミーティングを行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		引き続き、地元と話し合いながら計画を策定していく。	

状況を示す写真や資料等



地域ミーティング



地域ミーティングの結果

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
市道大川端通線周辺整備事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)

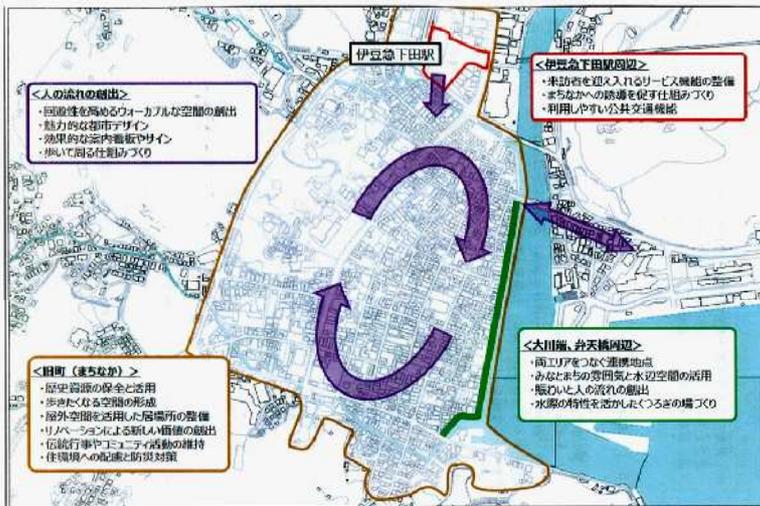
計画に記載している内容 市道大川端通線周辺において、歴史あるまちなみ及び稲生沢川と調和した空間の整備を図るため、道路東側の物揚場の修景舗装、休憩施設の設置等の再整備を行い、良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

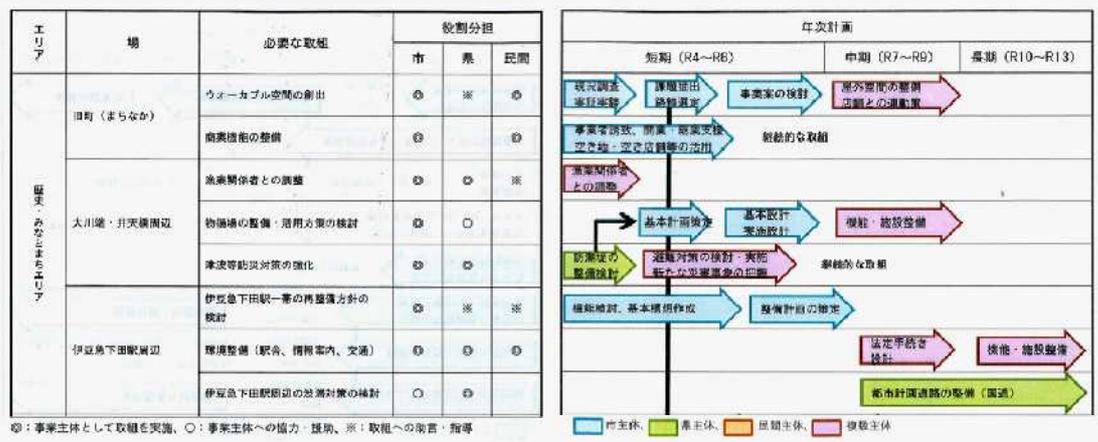
総合計画に位置付けのある「みなとまちゾーン活性化基本計画」が策定されて、歴史・みなとまちエリアに大川端周辺事業として位置付けられ、ロードマップを示した。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		ロードマップに沿って事業進捗を図る。

状況を示す写真や資料等



歴史・みなとまちエリアの「場」の役割



ロードマップ 全体計画

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
旧下田町道路美化事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成30年度～令和4年度)

計画に記載している内容 旧下田町内において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装や街灯整備、無電柱化を実施することにより、住民が誇りに持てる空間の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に「旧下田町地区街なみ環境整備事業計画」を策定し、計画に則って令和3年度も事業を実施した。
修景舗装実施済延長(令和元年度):49.55m、(令和2年度):69.20m、(令和3年度):36.58m
これまでにおける修景舗装実施延長割合:実施済延長(155.33m)/計画延長(650m)*100=24%

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	道路美化事業と併せ、ストリートファニチャーの設置や旧町名の石碑など、観光客や市民双方にとって良質な歩行空間の形成を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



施工前
(市道須崎町本町通線)



施工後
(市道須崎町本町通線一部完了)



施工前
(市道大工町下川岸通線)



施工後
(市道大工町下川岸通線完了)

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
蓮台寺温泉環境整備事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成28年度～令和2年度)、市単独事業

計画に記載している内容 蓮台寺温泉地区において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装及び沿道への公園整備等を実施することにより、蓮台寺温泉地区の賑わいを取り戻し、温泉場らしい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

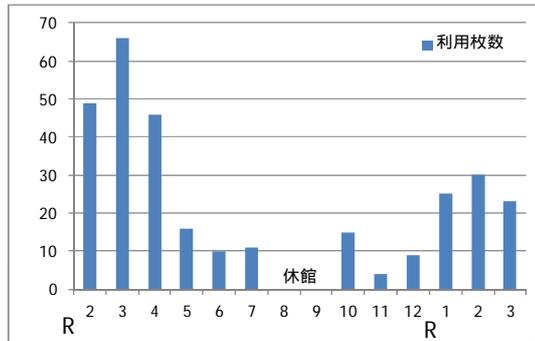
地区内の歴史文化の散策を促す施策「稲生沢を見る・知る・ふれる」周遊お散歩マップと連動した、稲生沢の手ぬぐいとオリジナルポストカードの配布企画の実施を行った。手ぬぐいは261枚、ポストカードは168枚の利用があった。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	今後の事業を検討する際に、近隣に市役所庁舎が移転してくることから、そうした環境の変化も踏まえて検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



吉田松陰寓寄処における展示



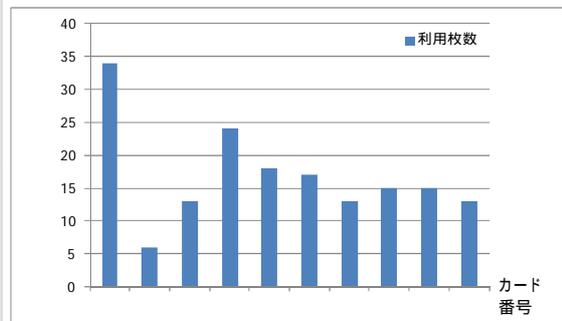
吉田松陰寓寄処における手ぬぐい利用枚数(枚)



←散策マップ内企画(稲生沢の今と昔を比べよう)



選べるポストカード



選べるポストカード利用枚数(枚)

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
下田公園環境整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田公園の地形的条件や自然環境などの特質を活かして、下田公園からまちなみを一望できる施設や散策路などの整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) <i>定量的評価は可能な範囲で</i>			
「自然」「歴史」の観点から下田公園を学ぶ小学生親子を対象とした散策教室を開催した。 アンケートによる参加きっかけが、地元のことを勉強する内容だったからという理由が多かった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		資源と今回のコースを、下田公園の見せ方につなげていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
ジオパークコース		自然観察コース	
			
下田城址空堀コース			

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
下田太鼓祭りプロモーション事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 首都圏等市外の都市において、下田太鼓祭りを様々な媒体を活用して魅力を発信、認知度をあげるプロモーションを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

前年度に引き続き、重点区域内の歴史的な建物や街並みを散策してもらうためにマップを作成、表面には、旧町の魅力的な祭りとして、下田太鼓祭り(下田八幡神社例大祭)を掲載して旧澤村邸で配布した。また、令和元年度から配布を行っている歴史まちづくりカードで、令和2年度は、無料観光案内所「旧澤村邸」を訪れて受け取りを希望をした観光客に配布を行った。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

コロナ禍の状況もあり、毎年夏に開催していた祭りも開催できておらず、太鼓台などの祭り道具を見られる機会が失われている。SNSの利用など、新たな情報発信方法の検討も必要である。

状況を示す写真や資料等



マップ(表面)



歴史まちづくりカード

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
太鼓台整備助成事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田太鼓祭りの保全継承のために、祭りで使用する太鼓台の修理費等の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
太鼓台整備助成事業の原資となる可能性のある、下田市景観まちづくり条例における助成内容の見直しを継続している。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している		太鼓台や道具類を扱う職人の高齢化や、職人が居なくなっている現状があり、技術の伝承や助成金制度などを活用した保護保存の対応も検討が必要である。技術の伝承として記録保存するなど、新たな対応策の検討も必要である。	
計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
姉妹都市(ニューポート)交流事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田市との姉妹都市であるアメリカニューポート市との交流事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
今年度はコロナ禍により、海外との行き来が自粛され、実施できなかった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
下田市青年就農給付金給付事業	実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成24年度～令和9年度

支援事業名 静岡県農業次世代人材投資事業、市単独事業

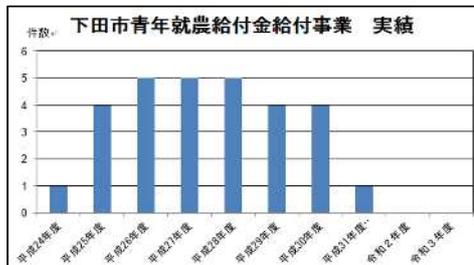
計画に記載している内容 新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで、生活費などの費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

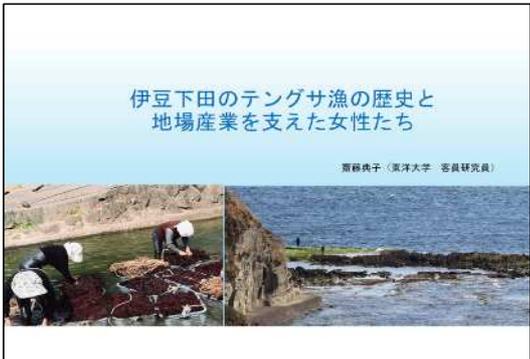
新規利用希望者はなかった。これまで給付を受けた方の就農は継続して行われた。
給付金給付: 0件(令和3年度)

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	単に新規就農者を募集するのではなく、元養蚕農家や古い農家の家を斡旋するなど、この地域ならではの特長を持ったプランを組むなどの工夫を検討することも必要である。

状況を示す写真や資料等



下田市青年就農給付金給付事業 実績
(平成24年度～令和3年度)

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
天草漁業従事者育成事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業である天草漁業従事者の育成を図るため、後継者育成・確保のための事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課が実施する「静岡県文化財景観総合調査事業」に対して、本市においては、須崎の天草漁を「下田市の重要文化的景観候補地」として選定、市としての価値の向上に努めた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		今後は、具体的な育成手法について整理して進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">下田市教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」 令和3年10月2日 「伊豆下田のテングサ漁の歴史と地場産業を支えた女性たち」 講師: 齋藤 典子 氏 (東洋大学人間科学総合研究所 客員研究員)</p>			

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
旧下田町環境整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町において、市民や観光客の快適性を図るため、伊豆急下田駅周辺の再整備や散策エリアにおけるポケットパークといった休憩施設の設置等を進めることにより、賑わいを取り戻し、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
令和2年度に整備したポケットパークを観光シーズンに有効的に活用してもらうため、ゴールデンウィークとあじさい祭り時期に生花店の出店や竹灯りを実施して頂いた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		整備した施設の活用方法をさらに検討することと併せ、公の施設として適切な運用方法などの基準化を検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
大工町プレイスの活用(生花店の出店) (あじさい祭り時期)		弁天橋ボードウォークの活用(アジサイ装飾) (あじさい祭り時期)	
			
大工町プレイスの活用(竹灯り) (ゴールデンウィーク)		弁天橋ボードウォークの活用(竹灯り) (ゴールデンウィーク)	

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
歴史文化資源回遊性向上事業		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧下田町地区や蓮台寺温泉地区に残されている歴史・文化資源を活かすため、散策コースの設定やマップ作成、あるいは外国人にも対応する案内サインなどの整備やウォーキングイベント等の開催により、地区内で回遊を生み出し、賑わい創出に繋げ、観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

昨年度、下田っ子マップを作成した日本大学工学部の学生さん協力のもと、まちなか(マイマイ通りより東側)で2つの調査「人、車の流れ」と「道路空間、沿道空間」を行って結果を掛け合わせ、歩いて楽しめる環境(ウォークブルなまち)を目指した実施計画策定を進めているが、令和3年度は調査を実施した。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している		現状における来訪者の人の流れや、その地域が持つ魅力の調査・検討を進め、来訪者に今後どの部分をどのように見せたいのか検討し、その仕掛けが出来るような施策の検討へと結び付けていきたい。
計画どおり進捗していない		

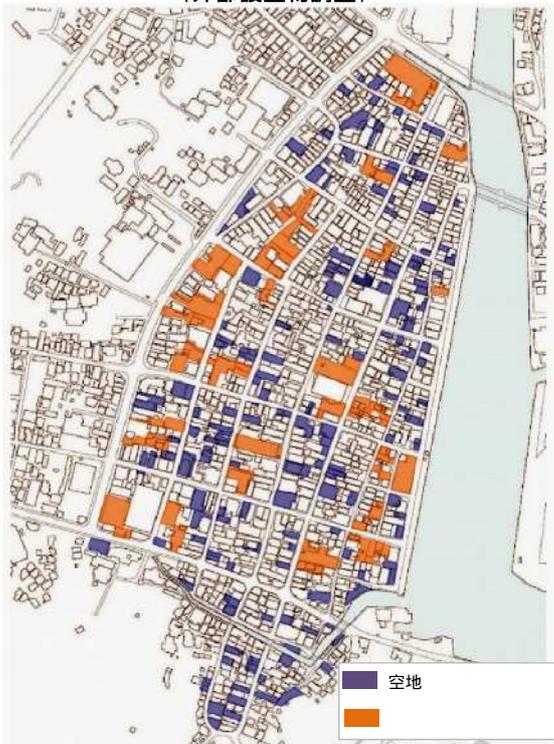
状況を示す写真や資料等



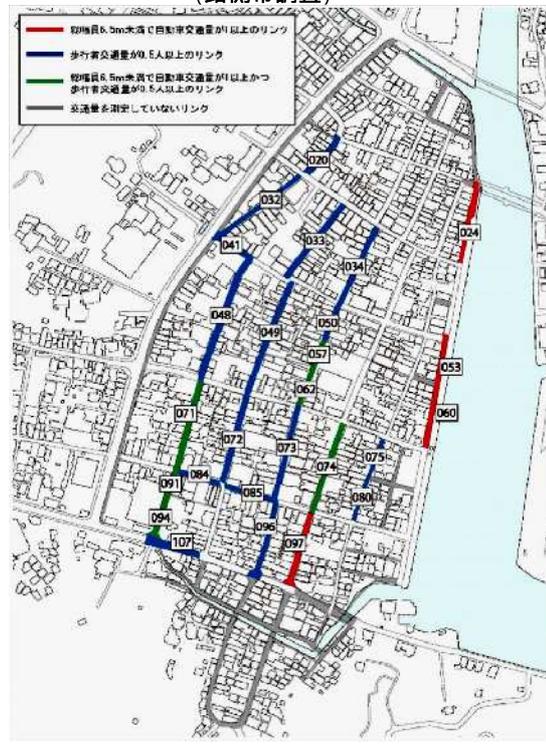
日本大学の学生による調査風景
(外部設置物調査)



日本大学の学生による調査風景
(路側帯調査)

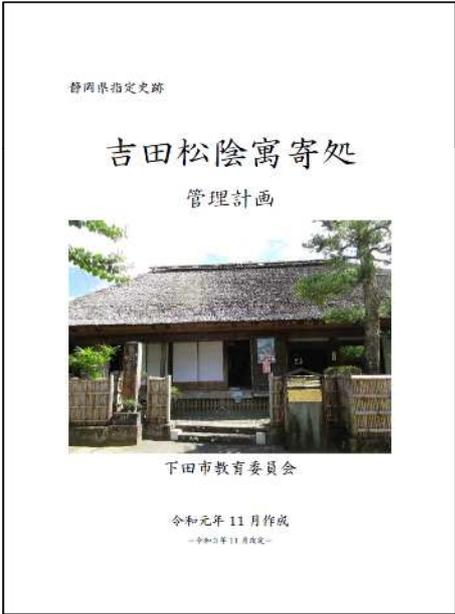


街区を横断する空地群



交通量と道路幅員(中間報告)

評価軸 -1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
郷土学習総合推進事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の素晴らしさを伝えるため、市民の生涯学習や市内小中学生の総合学習において、郷土の歴史・文化に関する学習機会を提供する。また、歴史的建造物や活動を支える職人に対して、有識者を招いて、歴史文化資源の貴重性などについての講義等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
地域固有の資源の素晴らしさを伝えるために出前講座を各地で行った。 小学校では、蓮台寺温泉環境整備事業で作成した手ぬぐいの絵柄について調べる総合学習が行われた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		郷土学習の推進を図るため、職員による出前講座などをメニュー化しているものの、利用率は伸び悩んでいる。学校側が求める郷土学習内容となるよう、校外学習や散策型の学習など、メニューの多様化を検討していきたい。	
状況を示す写真や資料等			
			
<p>出前講座(稲生沢小学校) (令和3年10月15日)</p>			

評価軸 -1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財調査、保存管理(活用)		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	国指定文化財7件、県指定文化財10件、市指定文化財56件、合計73件の有形・無形の指定文化財が存在している。国・県・市指定文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、下田市文化財保護条例のほか、関連法令に基づき保存、活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
静岡県からの要請を受け、令和3年度ふじのくに文化財交流展「やまなしの縄文世界」において、「静岡県と山梨県のつながりを示す文化財」として、「鱧口」(県指定)の展示を実施した。 県指定史跡「吉田松陰寓寄処」管理計画の更新を行い、令和6年度までの修繕等の実施計画を修正した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		指定文化財への市民の理解が不足している面があり、市民が実際に文化財を理解したり、触れたり、体感するような機会の創出が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
			
<p>令和3年度ふじのくに文化財交流展「やまなしの縄文世界」 静岡県と山梨県のつながりを示す文化財 “金山開発と武田家の遺臣”において鱧口(県指定)展示</p>		<p>「吉田松陰寓寄処管理計画」の改定</p>	

評価軸 -1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練		現在の状況 実施済 実施中 未着手

文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。
文化財の周辺環境は、その文化財の魅力に強い影響力を持つ。よって、文化財の保存及び活用を図る上で、その文化財単体にのみ措置を講じるのではなく、その周辺環境と一体的な措置を講じ、文化財の魅力を高める。火災が発生した際の迅速な消火体制の確保や対応力を高めるため、平素から防火教育や訓練に取り組むことで、文化財の滅失する危険性を除外・低下させていく。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

令和元年度の台風19号において被害を受けた吉田松陰寓寄処の茅葺屋根の一部を修繕した。また令和2年度に実施したシロアリ被害調査の結果に基づき、被害箇所の修繕と防除を行った。防災訓練の実施について、検討を行った。(新型コロナの感染拡大により、未実施となった。)

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	茅葺屋根修繕では、葺き方により対応ができる業者が限定され、今後同様に葺替え事業を行う際に、担える業者がいるかどうかの課題を今後検討していく必要がある。(葺き方も含め。)

状況を示す写真や資料等



吉田松陰寓寄処 茅葺屋根修繕(修繕前)



吉田松陰寓寄処 茅葺屋根修繕(修繕後)



吉田松陰寓寄処 シロアリ防除対応(薬剤注入)



着工前



着工後

吉田松陰寓寄処 シロアリ被害修繕(2階床下)

評価軸 -1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
下田旧町の見どころ11コース紹介マップ 市民有志と日大生調査・編集	令和3年6月2日	伊豆新聞
下田中心街 華やかに 初の花出店イベント	令和3年6月6日	伊豆新聞
市民が紹介下田マップ 11チーム観光コース提案	令和3年6月8日	読売新聞
下田公園の自然、歴史学ぶ	令和3年11月28日	伊豆新聞
「年表 下田市史」刊行	令和4年2月15日	伊豆新聞
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
完成した事業や関連する事業の掲載により、歴史まちづくりの進捗状況の情報提供に繋がった。		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし		日本大学生による調査取り組みなど、コロナ禍において報道への発信を控えたものもある。
状況を示す写真や資料等		
著作権保護のため、新聞記事は掲載していません。		

評価軸 -1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

SNSにみる認知度の向上

計画に記載している内容 美しく風格ある都市を創生し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で、記事・議会議事録等を添付

令和元年度に供用を開始した、重点区域内の都市公園(大工町プレイス、弁天橋ボードウォーク)について、SNSをもとにどの程度施設が認知されているのかを確認した。両施設の投稿は100件未満ではあるものの、#大工町プレイスの投稿者フォロワーは総計12,483件、#弁天橋ボードウォークは総計4,987件であって発信されている。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

イベント時に掲載されることが多いので、イベント利用を促進していく。

状況を示す写真や資料等



評価対象年度	令和3年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 下田市歴史的風致維持向上協議会(書面)	
会議等の開催日時: 令和4年4月15日～令和4年4月28日(意見聴取期間)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【評価軸 - 1 重点区域における良好な景観を形成する施策】 項目: 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法) 「立地適正化計画」を策定中であるが、その中に歴史的風致維持向上計画の内容が反映されているかどうか確認すること。反映されていない場合は、反映するよう対応すること。</p> <p>【評価軸 - 1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】 項目: 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業 今後は該当する歴史的建造物の補修だけでなく、再活用を検討した上での改修を実施していく必要がある。</p> <p>項目: 下田太鼓祭りプロモーション事業 年間を通してのプロモーションを考え、神輿や道具類を展示できるスペースの設置を検討すること。</p> <p>項目: 太鼓台整備助成事業 太鼓台や道具類を扱う職人が高齢化により、ほとんどいなくなっている。これに対応するため、写真や図面などの記録保存や、職人を育成するシステムの構築と助成金制度など、また伊豆石などの地元資源の保存を考え対応するべきである。</p> <p>項目: 天草漁業従事者育成事業 他分野への事業展開を考えるなど、産官学一体になって考えることが、従事者の育成や増加に繋がるのではないか。</p> <p>項目: 旧下田町環境整備事業 パブリックスペースの運用ルールや維持の為にシステムを早急に考えるべき。</p> <p>項目: 下田市歴史文化情報発信推進事業 歴史的風致を形成する指定文化財に対する市民の理解が不足している。市民が直接学び、体験できるような機会を検討、創出する必要がある。</p>	